

令和4年6月29日（水）博物館地域説明会（富丘交流センター）

<質疑応答>

・質問者①

質問：博物館構想についての一般的な説明は良く分かりましたが、どういうことを具体的にやりたいのかが、はっきりと掴めませんでした。

また富士宮市には、博物館を作り保存しなければならない貴重な資料はどのくらいあるのでしょうか。

回答：まず数字の面でお答えできる二番目の質問から回答します。

今埋蔵文化財センターにある古文書等は一千点を超えています。それ以外の埋蔵文化財、土器や遺跡と呼ばれるものも一万点を超える数になっています。また、このところ更に増えている状況ですが、なかなかお見せできる場所が無いので、機会の提供ができていないというのが現状です。

博物館の活動ですが、一つはオーソドックスに展示をしていくことです。

展示のためには収蔵庫や研究する場所が必要です。

また展示以外の（成果の）還元の方法ですが、体験学習と呼ばれるような、例えば縄文時代をテーマに縄文の技術を体験する、歩く博物館を掘り下げる、まだ解読されていない古文書の解読を市民の皆さんと勉強しながら行う、など、そういった事を考えています。具体的な事はこれから決めていきます。

これから先を生きる人々にちゃんと伝えていくために、そういった技術・知識を持つ人を育てていこうということが一番大きな目的です。

質問：育てるという意味では、いま歩く博物館や各学校での学習等を色々やられていますが、それだけでは博物館の仕事とは捉えにくいです。

博物館が無いとできないという風には捉えられません。富士宮の子供達や市民達にとって色々な事が満たされていけば博物館を建てなくてもいいのではないのでしょうか。

それだけ必要なものを保存したいのであれば、まずしっかりした保存庫をつくり、そこからどう発信していくかを考えたほうが良いのではないかと思います。

場所については、他の二か所もそうですが、白糸地区は冬場に行くといつも閉められています。また、車でなければ行くことができません。もっと利便性を考えた場所はないのでしょうか。

回答：まず最初の質問ですが、おっしゃられた内容がまさに博物館の活動になります。これを基本構想という形でまとめたのが今回説明したことです。もっと皆様に知っていただく、調べ学習をもっと意義のあるものにしていく、あるいは市民の皆さんの研究をもっと意義のあるものにする。そういったことを目標にしています。

そのためには収蔵庫さえあればいいという考えもあるでしょうが、収蔵するためにはやはりそれが持つ意義をしっかり研究していかねばなりません。

また、収蔵するだけでは意味がありませんので、収蔵しているものを市民の皆さんに還元していく活動はどうしても必要になると思います。

それが今富士宮市では出来ていないということは先ほど説明させていただいた通りで、ハード分を改善しないとこれ以上前に進めないところがあるので、このような基本構想を策定させていただいています。

整備する場所については、財政的な制約もあります。その中で富士宮の身の丈にあった所ということで、現在市が持っているすぐに使える土地をピックアップしたものが候補地三か所となります。

もちろんほかにいい場所があれば検討しますが、実現性の問題で今は三か所あげています。検討要件には交通の便ということもあります。それ以外に環境の静かさや眺望といったこともありますので、それらを考え合わせた上でさらに検討を重ね、挙がっている候補以外にも、さらに検討に加えていきます。

・質問者②

質問：基本構想の検討委員会の議事録を見させていただきましたが、すべて黒塗りでした。

逆に名前のほうを黒塗りして内容を見せていただいた方が良いのではないのでしょうか。表に出せないような内容が話し合われているのかと疑問に思います。

回答：議会でも今一般質問をやっています、同じような質問が来ています。議会のほうでしっかりと答弁させていただきます。

質問：ぜひオープンにしていきたいです。

また、次世代に残したい、子供たちに伝えたいということはよく分かりますし、歴史文化や富士山学習も大切ですが、何十億とかけて造ってもそれが子供たちのためになるのでしょうか。富士宮の学校の統廃合という問題をやっている、親たちはかなり不満に思っています。もしそういった歴史文化の建物を、学校の統廃合することによって空いた施設を地域の人たちと連携して使い、文化財を保存しながら設備を直していけば半分以下の金額でできるのではないのでしょうか。そんなに大切な文化財を後世に残したいのであれば、そういったことも検討に入れてはいいのではないかと 생각합니다。

回答：学校の統廃合というのはデリケートな問題がありますので、ここでは触れていませんが、(利用の)可能性について検討はしています。

ただ現実問題として、統廃合の議論の進んでいる所はございませんし、廃校になったような所で使える建物はございませんので、この資料の中には記載されていません。今後そのような議論が進み、学校に限らず使わせてくれる建物があれば、全部使っていきたいとは思っています。

現実に明らかになっているものが無いので構想には記載されていない、ということで考えていただきたいです。

・質問者③

質問：大きな箱物を何億もかけて作ることは古いような気がして、今そういう物を建てるのかと疑問に思います。

また、大事な資料を子供たちに見せるのであれば、今子供たちはパソコンを上手に使えるので、そういうところに無理して行かなくても資料をバーチャルで見れるようにする、立体的に見えるようにする等をすれば、それほど大きなお金を使わなくてもできるのではないかと思います。

実物が見たいというのもきつとあると思うので、それはそれで、どこかで展示の場を設けて、それを順番に入れ替えるようにしていく等、そういった方向で考えていただけたらなと思います。

また、世界遺産センターとの大きな違いが私達には分かりません。郷土史博物館ではなく世界遺産センターに行けば良いという印象があります。世界遺産センターという立派なものがあるのにわざわざバスに乗って富士宮の郷土史博物館に来てくれる方がそんなにいるのかな、という疑問があります。

また、もう建てること前提のような説明に聞こえます。ここまで構想が進んでいて、それを納得してね、という説明のように受け取れます。

回答：まず一点目の、電子データの公開を考えてはどうかとのことですが、電子情報はどこにいても見られるという利点はありますが、そのデータを作る場所が必要になります。

また、データにするにはきちんと研究して、どういうものなのか説明する作業が必要になります。実物を保存する場所も必要です。そうするとやはり最低でも収蔵庫と研究室を作らなければいけないということになります。

質問：それは博物館じゃなくても良いわけですね。

回答：展示施設がない博物館のようになりますが、結局デジタル（コンテンツの公開）だけで展示しなくていいのかというと、違うと思います。

展示は調査研究し保管している物の成果を見せる場所で、もちろんデジタルという方法もありますが、やはり本物を見ることは重要ですし、拠点は必要になってきます。

質問：それは、順番に展示していったら良いのではないですか。

回答：現在、富士宮市にそういった用途で使える施設はないので、施設を作らないとこれ以上の展示はできません。

質問：そんなに大きなものを作らなくても良いのではないですか。

回答：現在埋蔵文化センターが1300㎡あります。この富丘交流センターとほぼ同じ大きさです。収蔵と作業をするためには今現在でもそれだけの建物を使っています。

それに加えて、これから増えていくであろうものを収蔵するスペース、いろいろ研究するためのスペース、皆様に見てもらうためのスペースを合わせると2600㎡くらいは必要です。

もちろん私たちも費用的な面からあまり大きなものは造れないので、できるだけコンパクトにして進めていきたいと考えています。ただ、求めている整備をしていくとどうしてもこのくらいになってしまいます。

質問：建物を建てた後の修繕の予算は大丈夫なのですか？

回答：財政当局との話し合いの中で、建築費用、整備費用、運営費用、だいたい他所の金額も把握していますので、このくらいでしたら大丈夫だろうというも把握しています。

質問：毎年かかってきますもんね。

回答：先ほどバーチャルの話も頂きました。なぜ本物の博物館が必要かということ、バーチャルですと心に入ってこないし、パソコン上で見てもすぐ飽きてしまいますよね、ではこの画面で説明するのでどうぞ、とやっても心に残るものが違いますよね。本物を展示する場所はどうしても必要だと思います。

世界遺産センターがあるから良いのではないかという話もありますが、郷土史博物館と何が違うのかということ、世界遺産センターは富士山全体を説明する所で、富士宮の展示を多めにやってくださいと言っても、そういうものではない、世界遺産の構成資産に入るものしか説明できないとのこと。「そういう話（郷土資料の説明）は貴方達（富士宮市）が自分でやることでしょう」、というのが世界遺産センターの考え方です。

富士宮市の博物館ができたなら（世界遺産センターと）連携してやっていこうねという話がありますので、もし世界遺産センターに観光客がやってきたら、こっちにも来てもらえるようにしてもらってもできます。ただ、博物館の対象は富士宮市の子供達です。富士宮市を知って大好きになってもらい、大人になった時に富士宮に帰って来てくれる、富士宮市のために何かしたいと思ってくれるような人になってくれたらなというのが我々の思いです。

・質問者④

質問：博物館ありきの説明ですからそうなるのですが、展示に対する価値観が、多分専門家と一般的な市民の共有がされていません。

古文書や土器を展示されても、あまり魅力を感じません。

古文書は、専門家は読めても私たちは読めません。こんなもんか、こういうものがあったのか、というのは分かります。

また、博物館で展示しなければならぬのかということを見ると、展示する物の価値の反応をしっかりとつかむ必要があります。

そのためには今ある資料館の展示をアピールし、どのくらいの来客があるか把握しながら価値観や興味に対する調査を行ってはどうでしょうか。今芝川に保管場所があっても、それをすべて博物館ができたからといって展示する訳じゃないでしょう。今保存されている物の歴史的な価値と、私達が感じる価値には差があります。非営利でやるとなると利益は見込めず、税の中で賄うと考えると将来的に費用がずっとかかってきます。

富士宮市では5年間で5000人、人口が減っています。0歳児は今現在700人です。この人たちが20歳になっても700人しか居ません。人口がどんどん減っていくと税収が減ることを考えて、文化財に使う費用と私達の生活に関する費用をはかりにかけると、本当に博物館の建設は必要なんでしょうか。

デジタルなど工夫をする、資料館についても別の建物を使ってきちっとした展示を行い、市民の感覚や共有する価値観を確かめていただきたいと思いますと感じました。

回答：今のお考えも十分分かります。

当然、人口は減っていくと思います。

先ほど説明した通り富士宮市に理解のある子供を育てていき、将来富士宮市を見直して頂けるようになって頂きたく、これはそのための投資です。展示を色々なものを使ってやれば良いのではないかということですが、学校の空き教室で（展示を）やりなさいという案もありましたが、空き教室でやって見に行こうと思えるとは思いません。

学校も博物館であれば社会科見学のコースの中に入ります。

事実、富士宮の子供が、富士山かぐや姫ミュージアムに学校で行っているという話も聞きます。富士宮の子供が富士の歴史を学んでいる（という）こともあります。

我々は富士宮の歴史を学んでもらって富士宮の良さを分かってもらえるような教育のためにこの施設を使っていきたいと思っていますので、よそ（市町の博物館など）の展示、その都度その都度（空いたところを利用した展示）というのではなくしっかりと拠点を作って大切にしてもらえよう施設を作りたいです。

質問：初期費用として建物を建てる費用があると思うのですが、非営利で良いのでしょうか。維持費がどのくらいかかるのか、結局どこ場所を選定するか等、分からない所は色々あると思うんですよ。どのあたりまでを考えているのでしょうか。基本構想が増えれば増えるほどお金がかかるとは思いますが、ここまでは財源の中でやりきるんだよ、というものはあるのでしょうか。税金を使うことになると思うんですが、どのくらいを想定しているのか知りたいです。補助はないのですか。市の税金ですべて建てるのですか。

回答：まず財源については、財政部門との調整の中で17億～20億くらいというところが初期費用の目安で、そのくらいなら大丈夫であろうということになっています。維持費についてはどのような運営方法にするのか、建物をどんな形にするのかとい

うところでだいぶ変わってくるので、算出（できる）だけの条件が揃っていないためまだ算出はしていませんが、隣の富士市の博物館などは、我々が想定している博物館より大分大きなものですが、だいたい一億円くらいの総費用、このうち7割が人件費となっています。参考になるかどうか分かりませんが、一つの目安としてはこの金額です。

全部税金なのかということについては、子供たちの未来に対する投資だと考えています。きちんと財政計画を立てた上で趣旨を踏まえながらさらに検討を重ねていきたいと思っています。

質問：どのくらいかかることを想定しているのですか？いくらかかるか分からないと結局困るのは作っちゃった後で、苦しんでいる所はいくらんでもあります。市民の一人として税金がかかっているのに財源をどのくらい確保しているのかということが一番知りたいです。

回答：整備費にかかる試算ということで、6ページに示してあります。

これはあくまで目安で、（この）構想で（試算した）おおまかな（費用）です。この先基本計画に進んでいき、そこで数字がもう少し出てきますから、構想ではっきり何億ですという形ではなく、これを目安にしています。

経費についてもやり方によって金額の動きがありますので、基本構想での整備費の想定という所でお示ししていると思ってください。

市費だけで賄うのかということについては、今、国の補助で、例えばこういうことを一緒にやれば補助が出る、ということもありますので、こんな機能をつけたらこの部分は補助が出るとか、そういうことを研究している最中です。確実に補助がある訳ではないですが、（検討）が進んでいったところでもう少し確定に近い数字が出せるのかなと思います。

質問：今構想中で金額が分からないとのことですが、最終判断は議会が決めることになるんですか。

回答：はい。市の予算・計画を出し、議会に出して議決されたら我々が執行します。

質問：分かりました。これから議会の承認を得なくては、ということですね。議会の先生方がいないと言ったらこの構想は終わりなんですね。

回答：議決が得られなければ、そこで終わりという形です。

ただ、今までもしていますが、議員さんに丁寧に説明して、そういうことにならないように頑張って伝えていきたいと思っています。

質問：最終的には議員の人たちの多数決になるわけですね。

回答：そういうことになりますね。

ここで色々ご意見をいただきましたが、実は我々のほうには、賛成で早く進めて欲しいという意見も出ています。必要だからということをちゃんと理解していただいておりますので、それもまた紹介していきたいと思っています。今後 HP など、い

ただいた質問なども箇条書きになるかと思いますが、Q&A といった形で掲載していきたいと思っていますので、もしよろしければHP も覗いてみてください。